

舞台芸術公園からのお便り ～自然と芸術とともに～

2019年度
NO.4

日頃より舞台芸術公園をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

1月から2月にかけて、『メナム河の日本人』の舞台美術製作、静岡文化芸術大学の学生に向けた園内見学ツアー、イリーナ・ブルックさんの劇場下見、SPAC県民月間「シニア劇団くれば座」による『公園の音楽家』公演がBOXシアターにて行なわれました。『公園の音楽家』では何歳になってもチャレンジすることができるというメッセージが伝わってきました。

SPAC-静岡県舞台芸術センターは、引き続き県民の皆様から親しまれる舞台芸術公園を目指し、管理運営して参ります。皆様のご来園を心よりお待ちしております。

《舞台芸術公園でのイベントなどの報告》

●1～2月『メナム河の日本人』舞台美術製作の様子



園内の「BOXシアター」にてSPAC芸術局創作・技術部美術班を中心に、演出部班、SPACシアタークルー（ボランティア）さんたちも加わり、大量の布をきれいに切っていく作業が行われました。

●1月『House of Us-Hamlet』劇場下見



来年度9月に公演予定の『House of Us-Hamlet』の劇場下見が行われました。企画・演出のイリーナ・ブルックさんが来日し、園内の各所をまわりました。本作は、園内の複数の空間を会場として、創作される予定です。どんな作品になるのか、今から楽しみですね！

●2月 SPAC県民月間シニア劇団くれば座『公園の音楽家』

撮影：平尾正志



●3月に予定していた中学高校演劇支援事業「SPAC1日演劇学校」は、新型コロナウイルス感染状況と政府の感染症対策本部の方針および県の方針を踏まえ、やむを得ず中止とさせていただきます。

●1月 静岡文化芸術大学 野外劇場「有度」見学の様子

静岡文化芸術大学芸術文化学科の講義「芸術表現B」にて、学生十四名が屋内ホール「楢円堂」、野外劇場「有度」、BOXシアターなど園内を見学しました。



【舞台芸術公園～徒然日記～】

“花もいろいろ”

今年の春も園路や茶畑の縁で咲いた一つの野草の話。柔らかなみどりの葉の中から花茎を伸ばし、米粒ほどの小さな花びらが数枚、純白なので目に留まる。名は種浸花（タネツケバナ1～2年草）。苗代に備え種籾を水につける頃咲くのが由来のようだ。お前さんも津々浦々に文化を伝えようとしているのか、けな気だ。（Y.A）



静岡県舞台芸術公園は、自然と芸術が共存する公園です。SPAC-静岡県舞台芸術センターの活動を通して、演劇やダンスなどの新しい舞台芸術作品を生み出し、静岡から全国へ、そして世界に向けて情報発信していく舞台芸術の拠点となり、また国際的にも地域にも文化交流のシンボルとなることを目指しています。



@_SPAC_



@_spac_hirasawa



SPACshizuoka



shizuokaperformingartspark



spacshizuoka

発行 SPAC-静岡県舞台芸術センター（公園管理スタッフ）

お問い合わせ 〒422-8003 静岡市駿河区平沢 100-1 舞台芸術公園 本部棟まで

事務局 TEL：054-203-5735 FAX：054-203-5737

芸術局 TEL：054-208-4008 FAX：054-208-4014

This theatre is Your theatre

SPAC
SHIZUOKA PERFORMING ARTS CENTER

芸術総監督 宮成 聡

スパック = 静岡県舞台芸術センター